

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	18
事業名	東員町・大台町子ども交流事業	会計	款	項	目
		一般	10	5	3
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-1-5	青少年の健全育成			
主要施策	①青少年の活動促進				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内在住の小学生（高学年）	目的（対象がどのような状態になっているか）	夏休み期間中に、大台町を訪れ、地元の小学生と交流を図りながら、子どもたち自らが、体験したり挑戦したりする中で「生きる力」を身に付けていくことを支援する。
事業内容	大杉谷自然学校で1泊2日の自然体験学習を行い、子どもたちが自主的に活動する力を身につけることができるようにサポートする。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1	参加者数	30	29	0	人	→	30
2								
3								
4								
5								
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			858		264		—	
財源内訳	直接事業費A		594		0		—	
	うち一般財源		594				—	
人件費（千円）B			264		264		—	
内訳	一般職員（人・千円）		0.04	264	0.04	264	—	—
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	—	—

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	自然体験学習として、子どもたちに交流の場を提供し、自主的に活動する力を身に付けていただくため、引き続き事業を実施していく。	③取組の課題	子どもたちの登校日等を考慮しながらの調整が課題である。
②R2年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響により夏休みの短縮や交流先との調整が図れないことから中止となった。	④今後の改善計画	令和3年度から社会教育諸経費へ統合する。